

令和3年度 延岡市立島野浦中学校 学校評価書

教育目標「自分のことは自分でできる生徒の育成（自立・自律）」				4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する							
評価項目	重点目標	方策・手立て	具体策・数値目標	アンケート		学校の自己評価		学校関係者評価委員会			
				生徒	保護者 教師	成果と課題	評価	評価	所見		
知育	1 みんなで「わかる」、「できる」授業の実践	ア 授業内に『わかった！できた！』を主体的な対話的で深い学びの場 ウ 学びのサイクルの確立とSST・SSLの充実 ・年間2回の研究授業を授業力向上 ・SSTは毎放課後実施、SLTは年間5回実施	①・主題研とリンクしながら木・金・計画的に実施する。 ②計画的に時間割に入れる(SST) ③年間5回実施(SLT)	85 %	68 %	81 %	○主題研とリンクした研究授業ができた。 (各自2回実施) ○SLTは実施できた。 ●SSTは実施回数が増えた。	3	○読書の必要性の強化をお願いしたい。(家庭への協力や啓発も機会あるごとにしたい。) ○電子書籍の取組が、読書への興味関心につながるのを、取り組んで欲しい。		
	2 個別最適化学習と遠隔教育へのチャレンジ	ア IoTの効果的な活用 イ 教科、総合的な学習の時間での遠隔授業の実践 ウ 活発な意見交換でき、自分を表現できる力の育成 ・全教科、効果的な単元でのタブレット活用 ・学期1回以上の遠隔授業の実施	①各教科で積極的実施(主題研との連携) ②遠隔教育授業(1・2学期実施、3学期は未定)				○IoTに関する研修もあり、どの教科でも積極的に使用している。3年生は、朝の学習でそれぞれ自分の苦手な内容を行うことができています。 ●遠隔授業に取組、他校との交流ができたが、教師の負担が大きかった。			4	3
	3 自立した学習者の育成	ア 目標設定と適切な学習法で学習方法を高める。 イ 家庭と連携した家庭学習の定着 ・月1回の個別面談 課題提出の100%	①学習がSSや休み時間を利用して積極的に行う(個別面談) ②課題提出100%を目標として努力する				○テスト前は、計画を立て自分に必要な学習を行う生徒が増えてきている。 ●改善はされているが、提出率100%からは遠い。			3	
	4 委員会活動と連携した学力向上への取組	ア 自立した学習集団の育成 ・学期1回のキャンペーン ・月1回の読書量調査	①学期1回の教師からの意図的な働きかけによるキャンペーン ②月初めに担当者が読書量調査を行い、全体読書量を掲示する。				○交換学習と社会科を実施することができた。 ●読書量調査を行うことができなかった。			2	
徳育	1 礼儀と基本的生活習慣の徹底	ア 心からの「あいさつ」「返事」「清掃」 イ 時間厳守の意識付け ・対面でのあいさつ、返事100% ・無言清掃100%	①集会等の際生徒指導部からの話で指導を行う。 ②無言清掃をしないことを常時指導する。(無言清掃100%)	100 %	96 %	100 %	○機会があるときには、話をしたり、委員会での劇をさせたりした。 ○無言清掃の呼びかけを委員会活動として実施	3	○あいさつに関して、大人が見本を示すという意味で、大人のあいさつの調査ができるという。		
	2 道徳科を要とした人間教育の推進	ア 指導価値22項目の確実な実施 イ いじめ対策(予防・早期発見・早期解決) ・ローテーション道徳学期1回 ・いじめ解決100%	①生徒理解の時間で、情報交換を密に行う(いじめ解決100%) ②ローテーション道徳学期1回(道徳担当が中心となり計画する)				○生徒理解の時間を充実させることができた。密に情報交換をすることができた。			4	
	3 豊かな人間関係の中での自己有用感の伸長	ア 自信をもたせる指導の工夫 イ 認め合い、高め合う人間関係の醸成 ・検証のためのアンケート実施 ・教師の叱り方研修実施	①月1回の学校生活アンケート ②学期1回の教育相談の実施(教師の叱り方研修実施)				○ローテーション道徳も、計画通りに実施できた。 ○学校生活アンケートも教育相談も確実に行うことができた。			4	3
	4 非認知能力の育成	ア 自己の力(目標に向かって頑張る力)と社会性の力(人とまよく関わる力)の育成 ・教師の非認知能力理解と日常指導	①あいさつ・返事・気配りのスローガンのもと指導(教師の非認知能力理解と日常指導)				○円滑な人間関係を築くことができていると思います。			3	
保健安全	1 基礎体力の向上	ア 体力向上プランの実施 ・体力テスト自己ベスト更新100%	①年間を通じて複数回実施し、自己ベスト更新を目的に取り組んでいく。(体力テスト自己ベスト更新100%)	93 %	80 %	88 %	●コロナ禍でなかなかすべての項目で実施できなかった	3	○新校舎等なるので、危機管理マニュアルの見直しを定期的に取り組み、改善を図り、よりよいマニュアルを作成して欲しい。		
	2 計画的な食育活動と「弁当の日」の充実	・弁当の日年間2回実施	①魚さばき体験、送別行事におにぎり弁当の日の実施(年間2回)				○魚さばき体験においては、おにぎり弁当の日を実施することができた。			4	
	3 防災意識を高め、命を守る活動の推進	・危機管理マニュアルの見直し ・島民との避難訓練合同実施	①工事改修後、大層に変更(危機管理マニュアル見直し) ②年に1回シェイクアウトの実施(島民との避難訓練合同実施)				●工事完了後、危機管理マニュアルの見直しを行う。			3	
連携	1 小学校と連携した新しい学校づくり	・月1回の合同研修	①小学校と連携しながら計画していく(月1回の合同研修)	92 %	89 %	93 %	○連絡を取りながら、進めることができた。	4	○学校は、十分に取り組んでいる。 ○島ならではの魅力ある学校づくりを継続し、児童生徒・保護者にその魅力が伝わるようにもして欲しい。		
	2 保護者と協働して育成する「自立・自律」	ア 学校、学級通信の充実と参観日・面談の活用 ・学校評価アンケート達成率80%	①生徒、保護者、地域から愛される学校を目指し、一つ一つの学校行事をしっかりと取組、積極的に保護者に伝える(評価アンケート80%以上)				○学級通信や学校通信、HPで生徒の様子を発信することができた。			4	
	3 地域資源(ひと・もの・こと)を活かした「島活」「ふるさと活用」～持続可能な島野浦開発目標(SDGs)を通して	・ふるさと先生活用授業の開拓(区役員、漁協組合長、離島振興員、和田先生、後継者部会、島浦未来会議、他)	①各教科で島の魅力(人・もの・こと)を生かした教育活動を計画していく。(ふるさと先生活用授業の開拓:区役員、漁協組合長、離島振興員、和田先生、後継者部会、島浦未来会議、他)				○総合的な学習の時間や獅子舞、立志式などで地域の方に関わっていただくことができています。			4	

